

2022年4月22日

2025 年大阪・関西万博を目指して 「中信ものづくりアイデアソン」がスタート!!

京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）では、お取引事業者様に対する新たなイノベーション創出支援事業の一環として、次世代に向けたコミュニティ形成や人材育成を目的としたワークショップ「中信ものづくりアイデアソン 2022」を開催します。

事業者（企業/個人事業主）から選ばれた2～3名程度の参加者が、相互に工場訪問、方向性の合う企業同士でチームを組成し、専門家のアドバイスを受けながら、社会課題解決のための新たな製品・サービスを創出します。新たな仲間との出会いや交流、自身のスキルアップに挑戦したい企業後継者、若手有力者にご案内するものです。

当金庫は、今後もコロナ禍の厳しい環境にある地域事業者への積極的な支援を通じ、地域経済の活性化に努めてまいります。

名 称	中信ものづくりアイデアソン2022
実 施 期 間	2022年5月～10月
対 象	京都中央信用金庫のお取引事業者様（企業/個人事業主）で、次世代の担い手として期待される若手・中堅層（社会人経験3年以上から最大でも50歳まで）の方（1社あたり2～3名）
参加事業者数	最大8社程度 （応募多数の場合は、プログラムアドバイザーが選考のうえ参加事業者を決定）
テ ー マ	2025年大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」及びコンセプト「未来社会の実験場」に基づく、「多様で心身ともに健康な生き方 / 持続可能な社会・経済システム」に合致する「新たな製品・サービス」のアイデア
参 加 費	70,000円（税抜）※1社あたり
申 込 締 切 日	2022年5月13日（金）正午まで <u>添付のエントリーシートでメールにて申し込み</u> 【申込先】（事務局）株式会社地域計画建築研究所（略称：アルパック）
主 催	京都中央信用金庫 担当 地域創生部 美並・三宅 075-223-8250
共 催	一般社団法人京都知恵産業創造の森
協 賛	日本フルハップ
後 援	信金中央金庫

名 称	募集説明会
日 時	2022年4月26日（火）16時～（最大2時間程度） ハイブリッド開催
会 場	KOIN（京都経済センター3階） オンラインでの参加も可 https://open.kyoto/access/
申込締切日	<p>専用の申込用紙はありません</p> <p>【事前申込】 2022年4月25日（月）正午まで</p> <p>① 参加人数</p> <p>② 参加人数分の氏名、所属先、連絡先（電話&メール）</p> <p>③ 参加方式（会場参加又はオンライン参加のどちらで参加するか）</p> <p>を締切までに事務局担当者までメールにて連絡</p> <p>【申込先】（事務局）株式会社地域計画建築研究所（略称：アルパック）</p> <p>住 所： 〒600-8007 京都市下京区四条通り高倉西入立売西町82</p> <p>電 話： 075-221-5132（代）</p> <p>担当者： 松田 剛 /matsu-go@arpak.co.jp</p> <p>担当者： 西河 公嗣 / nishik-kj@arpak.co.jp</p>

以上

「京都中央信用金庫」お取引事業者様の皆様へ

～新たな価値共創を担う次世代人材育成プログラム～
『中信ものづくりアイデアソン 2022』
参加者募集のご案内（募集要項）

国内外における急激な情勢変化や、ウィズコロナ／ポストコロナ時代に求められる構造転換の必要性、我が国が目指す社会（Society5.0）の実現に向け、企業におけるオープンイノベーションの推進は、政府が2020年7月に策定した「成長戦略実行計画」の柱の1つとなっており、ますます重要な課題となっています。

こうした中、京都中央信用金庫（以下、当庫という）では「中信ビジネスフェア」の開催やお取引事業者様に対するビジネスマッチング支援など、イノベーション創出に向けた様々な事業支援を展開しておりますが、新たなイノベーション創出支援事業の一環として、次世代に向けたコミュニティ形成や人材育成を目的とした「中信ものづくりアイデアソン2022」を開催します。

1. 事業内容

（1）概要

本事業は、当庫のお取引事業者様を対象にした、新たな価値共創^{※1}を担う次世代人材育成プログラムです。事業者（企業／個人事業主）8社程度の中からそれぞれ2～3名程度の参加者を募り（定員数あり）、他の参加者と複数名で構成するチームを組成し、新たな製品・サービスの創出に向けたアイデアソン^{※2}として開催します。

また、約5カ月間にわたるプログラムの成果（新たな製品・サービスなどのビジネスアイデア）や参加者のPR情報等については、当庫の広報誌である中信ビジネス情報誌「ANONA」やYouTubeの「京都中央信用金庫 OnYourSide プレミアムストーリー」、当庫の関係機関（プレスやメディア関連含む）を通じて幅広く情報を発信していく予定です（詳細調整中）。

なお実施にあたり、オープンファクトリー^{※3}など様々なイノベーション創出事業をプロデュースするCOS KYOTO株式会社の代表取締役である北林 功氏を専門家として、経済産業省等の中小企業支援業務に長年の実績を有する株式会社地域計画建築研究所（略称：アルパック）を事務局として、それぞれ招聘、連携します。

<想定される得られる効果（参加メリット）>

- 企業や職種、専門分野を超えた「多様かつ新たな仲間との出会いや交流」
- 深い交流や共創体験を生み出し、新しい製品やサービス、技術に関する「**独創的なアイデアが生まれやすい**」
- 新事業を創出していくことができる「**自律的な人材が育つ**」
- これまで見えなかった、「**自社の新たな可能性が見えてくる**」
- 情報発信を通じた「**新たなアイデアのPR**」や「**自社や製品・サービスのPR**」
- アイデアソンを経て、「**新たな協業事業に発展する可能性が高い**」

※¹ 価値共創とは

画一的ではない価値観を有する多様なステークホルダーが、共有された明確な大きな目的の下、想像的対話を継続的に実施しながら、その実現に向けて各々が貢献（提供）できる資源を持ち寄り、組み合わせることで、社会にも共感を呼び変化をもたらす新たな価値をともに生み出す活動。

※² アイデアソンとは

アイデアとマラソンを組み合わせた造語。新しいアイデアを生み出すために行われるイベント。決められた時間や期間の中でグループごとにアイデアを出し合い、ブラッシュアップさせてその結果を競う。多様な人とディスカッションすることで発想が広がり、特定のテーマに対する良質なアイデアを創出できることから、新規事業開発やオープンイノベーションの現場で広く活用されている。

※³ オープンファクトリーとは

企業などづくり手が、モノをつくりだしていく現場を公開し、来場者（お客様）に体験してもらう取り組み。普段はお客様を招き入れることのない仕事現場を公開し、交流をおこなうことで、自社製品や仕事に対する生の声や新たな気づきを得ることが目的。

(2) テーマ

2025 年大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」及びコンセプト「未来社会の実験場」に基づき、「多様で心身ともに健康な生き方／持続可能な社会・経済システム」に合致する「新たな製品・サービス」のアイデア

(3) 実施期間

- ・2022 年 5 月～10 月（予定）

(4) プログラムアドバイザー（専門家）

本プログラムでは、以下 1 名の専門家がプログラムアドバイザーとして、各チームのアイデアのブラッシュアップ及びメンタリング等のサポートを行います。

北林 功 氏（きたばやし いさお）

- ／COS KYOTO 株式会社 代表取締役／コーディネーター、エドノミー[®] 研究家
- ／一般社団法人 Design Week Kyoto 実行委員会 代表理事
- ／一般社団法人サステナブル・ビジネス・ハブ 理事／リサーチャー
- ／同志社大学・京都女子大学嘱託講師

地域で培われてきた叡智をベースに「自律・循環・持続する心豊かな社会を構築する」をビジョンとして活動を展開。江戸時代の循環型社会の仕組みを「エドノミー[®]」と名付け、研究を深めている。

1979 年奈良県生まれ。大学在学中、総務庁（現内閣府）の国際青年育成交流事業フィンランド派遣団に参加、行政や教育、デザインについて学ぶ。2002 年卒業後、大阪ガス株式会社に入社し、京都でエネルギー関連設備の法人営業に従事。2007 年株式会社グロービスに転じ、東京で金融・商社業界を担当する人材育成コンサルタントとして活動。2010 年に同志社大学大学院ビジネス研究科に入学し、地域に根づく文化を軸とした自律・循環・継続する仕組みである「文化ビジネス」を研究。同大学院修了後、2013 年に COS KYOTO 株式会社を設立し、「文化ビジネス」を具現化するためのコーディネート、国内外との文化交流イベントの企画・運営、人材育成・研修、体験ツアーなどの事業を展開。2012 年～2014 年には TEDxKyoto のディレクターを務めた。2016 年より京都府内のモノづくり現場をオープンし、多種多様な交流を通じて創造的な地域としていくことを目的に「DESIGN WEEK KYOTO」をスタート。

(5) 募集説明会（事前申込制）

本事業に関する募集説明会を下記のとおり開催します。開催方法は、リアル+オンラインのハイブリッド開催です。参加希望者は、別途事務局まで事前にお申し込みください。

日 時：2022年4月26日（火）16時～（最大2時間程度）

会 場：KOIN（京都経済センター3階）、又はオンラインでの参加も可

<https://open.kyoto/access/>

[募集説明会に係る事前申込]

①参加人数 と ②参加人数分のご氏名、ご所属先、ご連絡先（電話&メール）

③参加方式（会場参加又はオンライン参加のどちらで参加するか）

を下記事務局担当者までメールにてご連絡ください。

（事務局）株式会社地域計画建築研究所（略称；アルパック）

電 話：075-221-5132(代)

担当者：松田 剛 / matsu-go@arpak.co.jp

担当者：西河 公嗣 / nishik-kj@arpak.co.jp

[申込締切日]

2022年4月25日（月）正午12時まで

(6) プログラム

①参加者訪問

専門家・事務局が、各参加者が所属する事業所を訪問し、顔合わせ並びに打合せを実施します。本事業の参加者は必ずご出席ください。

時期：5月23日（月）～6月3日（金）の平日に2時間程度

②オープンファクトリー（OF）ツアーの実施

事業者間でアイデアソンのチームを組成する前段階として、お互いの現場を訪問し、工場やオフィス等を見学しながら意見交換するOFツアーを平日の2日間で実施します。また、実施に先だってOFツアーに関するオンライン説明会等を実施します。

1) オンライン説明会&交流会：6月7日（火）16時～（1時間程度）

2) OFツアー：6月21日（火）と29日（水）の2日間、

それぞれ9～18時（予定）

※ツアーの移動手段（バス等）、は事務局がご用意いたします。

③アイデアソンチームの組成

OFツアーの終了後、参加者の中からアイデアソンチームを計4チーム程度組成します。具体的には、下記日時で参加者が一堂に会するチーム組成ミーティング、及びその後のメンター支援にかかる説明会を実施します。

日 時：2022年7月6日（水）15時～（3時間程度）

会 場：KOIN（京都経済センター3階）

<https://open.kyoto/access/>

④メンター支援

各チームにおいてアイデア創出や必要に応じた試作品開発やテストマーケティング等の製作をスタートしていただきます（費用については、各チーム自己負担として10万円を上限とします）。また、各チームに対し、専門家によるメンター支援（助言や指導等）を月1回程度実施します。メンター支援は、原則、オンライン形式（Zoom、Slack など）にて実施します。

期間：2022年7月～9月

⑤中間報告会

上記のメンター支援の一環として、関係者を招いたプレゼン発表やワークショップ等を実施する中間報告会を開催します。

日時：8月5日（金）15時～（3時間）

会場：KOIN（京都経済センター3階）

<https://open.kyoto/access/>

⑥成果報告会

各チームの成果を発表し、参加者や関係者との交流を目的とする「中信ものづくりアイデアソン 成果報告会」を開催します。

日時：2022年10月20日（木）の午後半日程度

会場：KOIN（京都経済センター3階）

<https://open.kyoto/access/>

※出席者の人数によっては、Zoom によるオンライン参加も可能としたハイブリッド方式で開催する場合があります。

出席者：参加者が所属する事業者（企業／個人事業主）、京都中央信用金庫、一般社団法人京都知恵産業創造の森、信金中央金庫、その他（産業支援機関やプレス・メディア関係などを想定）（予定）

※現在検討中ですが、今後の調整によっては、一般来場者（中小企業やベンチャー・スタートアップ企業、学生等）の出席も可能とする場合があります。

定員：50名程度（リアル参加） ※オンライン参加は人数制限なし
（プログラムイメージ）

- ・開会挨拶
- ・各チームからのプレゼン発表（デモンストレーション&質疑応答等）
- ・交流会 など

2. 応募対象（応募資格）

- ・京都中央信用金庫のお取引事業者様（企業／個人事業主）
- ・次世代の担い手として期待される若手・中堅層（社会人経験3年以上から最大でも50歳まで）
- ・事業者1社あたり、2～3名まで
- ・プログラムに全日参加可能な方

- 日本語でのコミュニケーションが可能な方
- オンラインミーティングツールが対応可能な方（PC や Wi-Fi の環境整備など）

3. 定員（事業者数）

- 最大 8 社程度（応募多数の場合は、選考のうえ参加事業者を決定）

4. 参加費

- 1 社につき、7 万円（税抜）
（参加人数に関係なく、1 社あたりの参加費として）
（交通費や試作製作やテストマーケティング等の活動に関する実費は自己負担）
（参加費のお支払方法等については、本事業の参加事業者が確定次第、事務局から手続等のご案内をいたします。）

5. 応募方法等

（1）申込方法

- 別紙「エントリーシート（word データ）」を、下記申込提出先（事務局）の担当者まで電子メールでご提出ください。

（2）申込締切日

- 2022 年 5 月 13 日（金）正午 12 時まで

6. 主催

京都中央信用金庫

住 所：〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 91 番地

電 話：075-223-8250

担当者：地域創生部 美並 剛司 / chiikisosei@kyoto-chushin.jp

7. 共催

一般社団法人京都知恵産業創造の森

8. 協賛

日本フルハップ

9. 後援

信金中央金庫

10. 協力

COS KYOTO 株式会社（本事業に係る専門家）

11. 申込提出先・お問い合わせ先（事務局）

株式会社地域計画建築研究所（略称；アルパック）

住 所：〒600-8007 京都市下京区四条通り高倉西入ル立売西町 82

電 話：075-221-5132(代)

担当者：松田 剛 / matsu-go@arpak.co.jp

担当者：西河 公嗣 / nishik-kj@arpak.co.jp

以上

『中信ものづくりアイデアソン 2022』

エントリーシート

お申込の際は、「参加者募集のご案内（募集要項）」を必ずご確認ください、本エントリーシートに必要な事項をご記入のうえ 2022年5月13日（金）12時までに、次頁の申込提出先に電子メールでご提出ください。

1. 申込者様の情報

企業名	
ふりがな	
所在地（本社）	〒 —
ホームページ URL	
業種、事業内容等	業種： 社員数： 事業内容：
主な製品・サービス	
窓口担当者	氏名： 部署・役職： 連絡先： E-mail：
京都中央信用金庫のお取引店名	
参加の目的 （複数回答可）	<input type="checkbox"/> 若手人材の育成 <input type="checkbox"/> 他社との交流（新たな出会い） <input type="checkbox"/> 将来の新事業創出 <input type="checkbox"/> その他 【自由記述（任意）】
想定している参加予定者（2～3名）	※氏名のご記載は必須ではありませんが、参加を想定いただいている方の部署・役職などを記載ください。 • • •

（次頁に続く）

2. 参加するメンバーに期待すること（参加者として送り出す社員等へのメッセージ）

【自由記述】

例：製造ラインの現場リーダーとしては十分な力を発揮してくれているが、今後は新事業の企画などもできるような人材に成長して欲しい。

3. 同意事項

下記項目をご確認のうえ、「確認チェック」欄に○をご記入の上、お申込ください。

- ・私どもは、京都中央信用金庫の取引事業者様です。

確認チェック

- ・私どもは、出展申し込みにあたり「応募対象（応募資格）」に記載の内容を確認・同意しました。

確認チェック

- ・私どもは、オープンファクトリーツアーや中間、成果報告会などの、本アイデアソン内のすべてのプログラムに参加可能です。

確認チェック

4. 選考・申込方法

（1）参加事業者の選考

対象：京都中央信用金庫のお取引事業者様（企業／個人事業主）で、次世代の担い手として期待される若手・中堅層（社会人経験3年以上から最大でも50歳まで）

参加事業者数：最大8社程度（応募多数の場合は、選考のうえ参加事業者を決定）

参加費：1社につき7万円（税抜）

（参加人数に関係なく、1社あたりの参加費として）

（交通費や試作製作費等の活動に関する実費は自己負担）

（参加費のお支払方法等については、本事業の参加事業者が確定次第、事務局から手続等のご案内をいたします。）

参加事業者の決定：下記の締切日以降、約1週間以内に結果をご連絡いたします。

（2）申込方法等

以下の提出物を、下記申込提出先（事務局）の担当者まで電子メールでご提出ください。

■提出物（電子媒体）：本エントリーシート（wordデータ）

■締切日：2022年5月13日（金）12時まで

■申込提出先・お問い合わせ先（事務局）

株式会社地域計画建築研究所（略称；アルパック）

住 所：〒600-8007 京都市下京区四条通り高倉西入ル立売西町 82

電 話：075-221-5132(代)

担当者：松田 剛 / matsu-go@arpak.co.jp

担当者：西河 公嗣 / nishik-kj@arpak.co.jp